

# 資料編

---



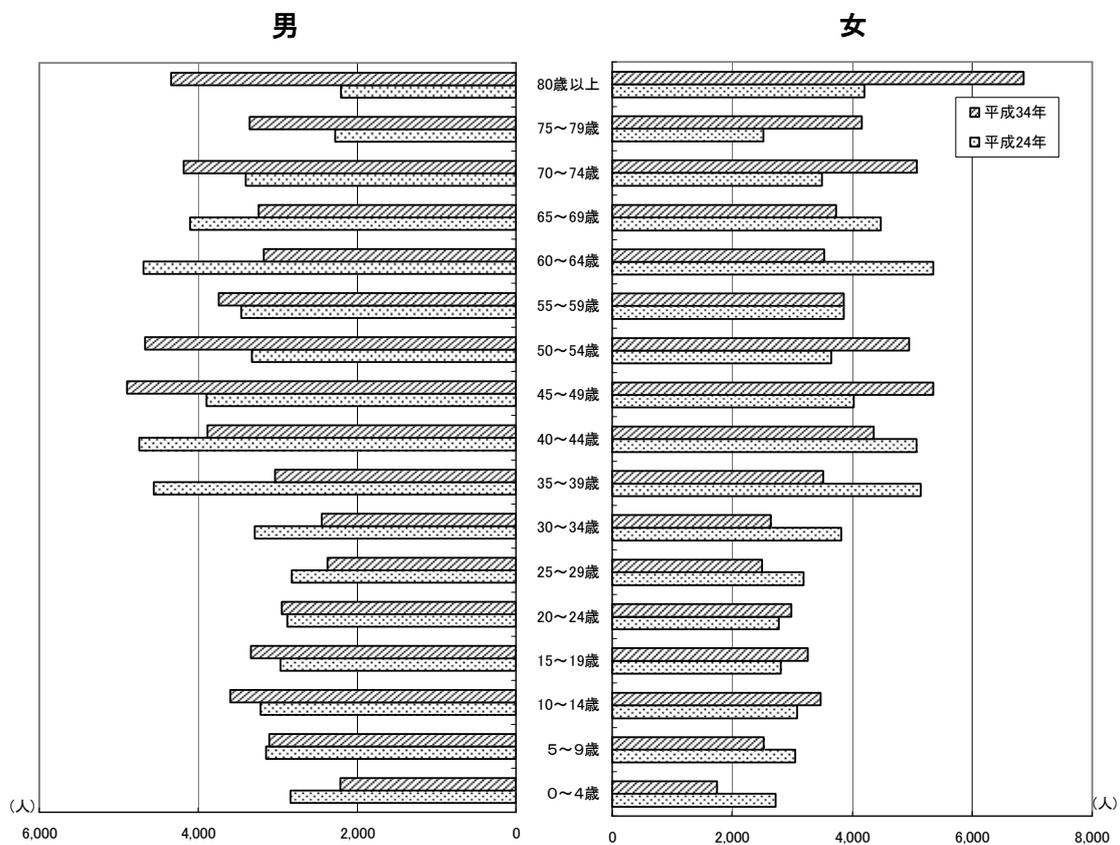
# 1 生駒市の現状

## (1) 人口、人口動態

### ① 男女5歳階級別人口構成

- 平成24年～34年の男女5歳階級別の人口構成の将来推移をみると、平成24年では男女とも60歳代（団塊の世代（昭和22～24年生まれ）を含む）と、35～44歳（団塊ジュニア（昭和46～49年生まれ）を含む）が多くなっていますが、平成34年には70歳以上と40～54歳が多くなると推測されます。
- 65歳以上の人口が全人口に占める割合は、平成24年では22.0%であるのに対し、平成34年には28.4%になります。

図表1 男女5歳階級別人口構成の将来推移（平成24年～34年）



資料:生駒市

② 人口動態の推移

○ 本市の人口は、年々増加しています。また、人口動態の推移をみると、出生数はおおむね横ばいで推移していますが、死亡数が増加しており、自然増の伸びは小さくなってきています。一方、転入は転出を上回っていますが、転入・転出とも少なくなってきました。社会増の伸びが小さくなってきています。

図表 2 人口動態の推移

	人口	出生	死亡	自然増	転入	転出	社会増
平成 18 年度	115,740	984	735	249	5,404	4,851	553
平成 19 年度	116,488	986	788	198	5,377	4,908	469
平成 20 年度	117,321	977	770	207	5,177	4,594	583
平成 21 年度	118,343	948	849	99	5,073	4,302	771
平成 22 年度	118,783	960	896	64	4,682	4,342	340

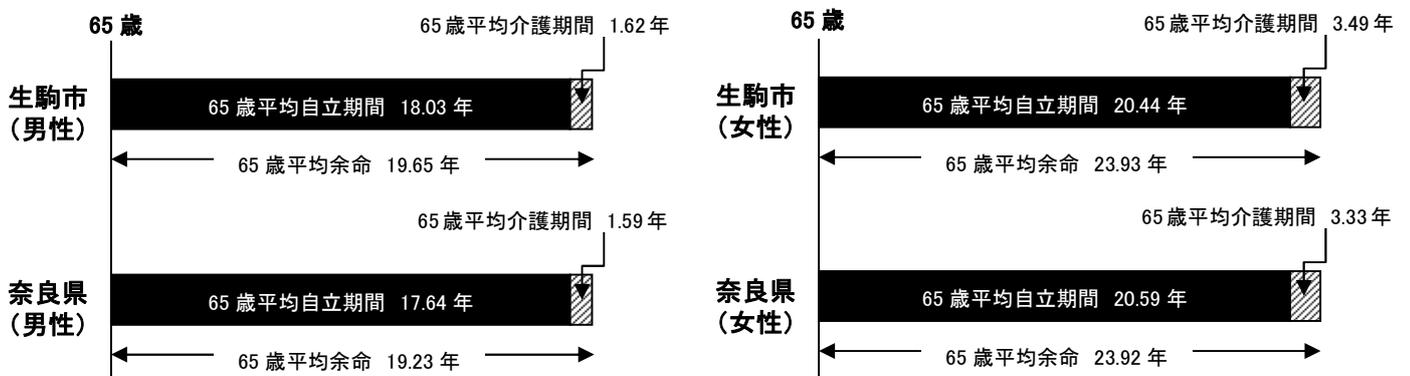
注:人口は各年 10 月 1 日現在の住民基本台帳人口

③ 健康寿命

○ 本市の健康寿命をみると、男性は平成 21～23 年の平均で 18.03 年と奈良県や全国に比べて高くなっています。一方女性は、男性に比べて高いものの、奈良県より低く、全国とおおむね同じとなっています。

図表 3 健康寿命（65 歳平均自立期間）の推移

		平成 19	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23
男性	生駒市	18.03				
	奈良県	17.07	17.28	17.54	17.46	17.84
	全国	16.95	16.98	17.24	17.20	17.10
女性	生駒市	20.44				
	奈良県	20.18	20.09	20.61	20.50	20.47
	全国	20.23	20.25	20.49	20.42	20.30



(2) 疾病の状況

① 年齢階層別の疾病別受診割合

- 入院治療の状況をみると、50歳までは件数が少ないため、60歳以降でみると60-64歳では、「精神および行動の障害」、「循環器系の疾患」が高いのに対し、65歳以降では、「循環器系の疾患」、「新生物」の割合が高くなっています。
- 入院外治療の受診割合をみると、0-14歳では「呼吸器系疾患」が半数を占めています。一方、50歳以降では、「循環器系の疾患」、「内分泌・栄養および代謝疾患」、「筋骨格系および結合組織の疾患」の割合が高くなっています。

図表4 生駒市における疾病分類別・年齢別受診割合（入院）

	0-14歳	15-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳
I 感染症および寄生虫症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
II 新生物	0.0	6.3	8.8	15.2	9.7	17.1	23.0
III 血液および造血管の疾患ならびに免疫機構の障害	0.0	3.1	0.0	3.0	1.6	0.0	0.6
IV 内分泌・栄養および代謝疾患	0.0	6.3	0.0	3.0	3.2	1.9	3.6
V 精神および行動の障害	0.0	40.6	38.2	33.3	24.2	8.6	6.7
VI 神経系の疾患	0.0	15.6	8.8	3.0	8.1	5.7	3.6
VII 眼および付属器の疾患	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	1.0	4.2
VIII 耳および乳様突起の疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
IX 循環器系の疾患	0.0	0.0	8.8	9.1	24.2	23.8	17.6
X 呼吸器系の疾患	14.3	3.1	0.0	9.1	1.6	8.6	8.5
X I 消化器系の疾患	14.3	3.1	5.9	6.1	8.1	9.5	7.3
X II 皮膚および皮下組織の疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.0	0.6
X III 筋骨格系および結合組織の疾患	0.0	0.0	11.8	3.0	6.5	9.5	9.1
X IV 尿路器系の疾患	0.0	0.0	2.9	0.0	6.5	3.8	4.8
X V 妊婦・分娩および産褥	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
X VI 周産期に発生した病態	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
X VII 先天奇形・変形および染色体異常	28.6	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
X VIII 症状・徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14.3	3.1	0.0	6.1	3.2	1.9	1.8
X IX 損傷・中毒およびその他の外因の影響	14.3	9.4	14.7	6.1	1.6	6.7	7.3
(N=)	7	32	34	33	62	105	165

注：国民健康保険 平成23年6月審査分  
年齢ごとの受診件数を100%とした場合

図表5 生駒市における疾病分類別・年齢別受診割合（入院外（調剤含まず））

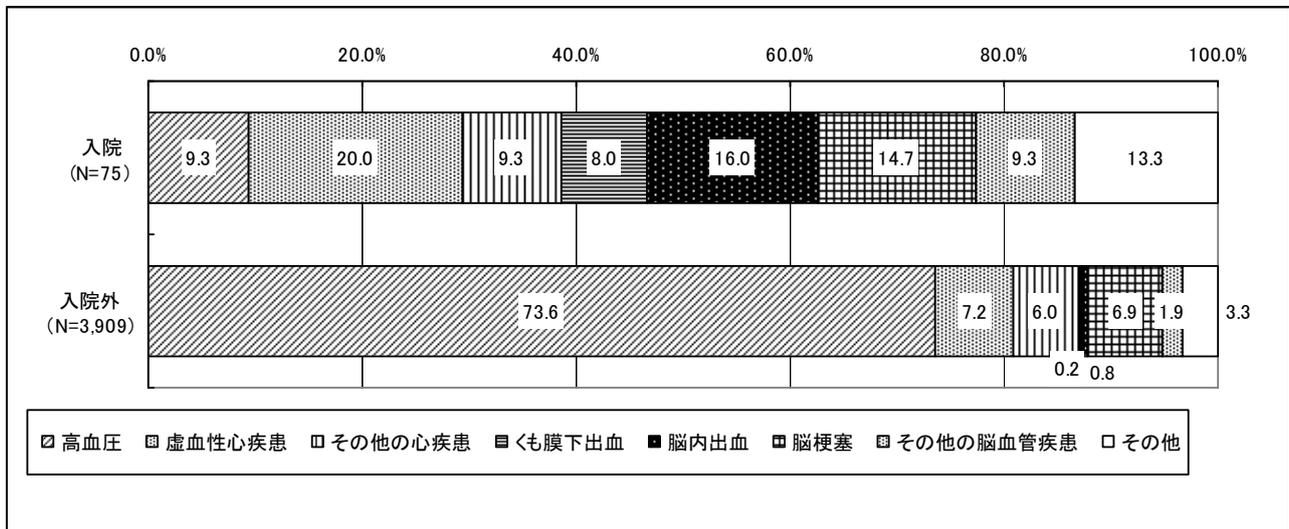
	0-14歳	15-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳
I 感染症および寄生虫症	3.0	2.1	0.8	2.0	1.6	1.9	1.8
II 新生物	0.6	3.0	4.5	5.7	5.0	6.0	5.3
III 血液および造血管の疾患ならびに免疫機構の障害	0.4	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3	0.1
IV 内分泌・栄養および代謝疾患	0.5	4.2	6.9	11.5	13.1	13.7	12.8
V 精神および行動の障害	1.0	13.2	16.6	7.9	3.6	2.3	2.2
VI 神経系の疾患	0.5	3.6	5.0	3.3	2.8	2.5	2.5
VII 眼および付属器の疾患	11.4	12.8	6.5	8.3	9.1	10.1	10.3
VIII 耳および乳様突起の疾患	5.2	1.3	1.4	1.7	2.0	1.9	1.8
IX 循環器系の疾患	0.8	1.7	6.8	16.7	23.2	25.0	25.6
X 呼吸器系の疾患	50.2	20.5	14.8	10.2	7.5	6.7	6.2
X I 消化器系の疾患	1.2	5.1	7.9	8.4	7.6	6.0	7.3
X II 皮膚および皮下組織の疾患	14.2	13.4	9.8	5.7	4.8	4.4	3.7
X III 筋骨格系および結合組織の疾患	1.9	5.9	7.6	10.8	11.7	11.7	13.2
X IV 尿路器系の疾患	0.7	5.0	4.9	3.6	3.3	3.5	3.7
X V 妊婦・分娩および産褥	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
X VI 周産期に発生した病態	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
X VII 先天奇形・変形および染色体異常	1.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2
X VIII 症状・徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.9	2.3	1.8	1.3	1.4	1.5	1.2
X IX 損傷・中毒およびその他の外因の影響	4.7	5.1	3.8	2.6	3.0	2.3	2.1
(N=)	1,160	1,733	1,059	1,451	3,226	4,866	6,225

注：国民健康保険 平成23年6月審査分  
年齢ごとの受診件数を100%とした場合

② 循環器系疾患の内訳

○ 平成 23 年 6 月審査分をみると、入院治療、入院外治療ともに「循環器系の疾患」の割合が高くなっています。「循環器系の疾患」の内訳をみると、入院では「虚血性心疾患」、「脳内出血」が高いのに対し、入院外では大半が「高血圧」となっています。

図表 6 循環器系疾患の内訳（入院、入院外）



注: 国民健康保険 平成 23 年 6 月審査分

(3) 生駒市食生活や健康に関するアンケート調査結果からみた生活習慣

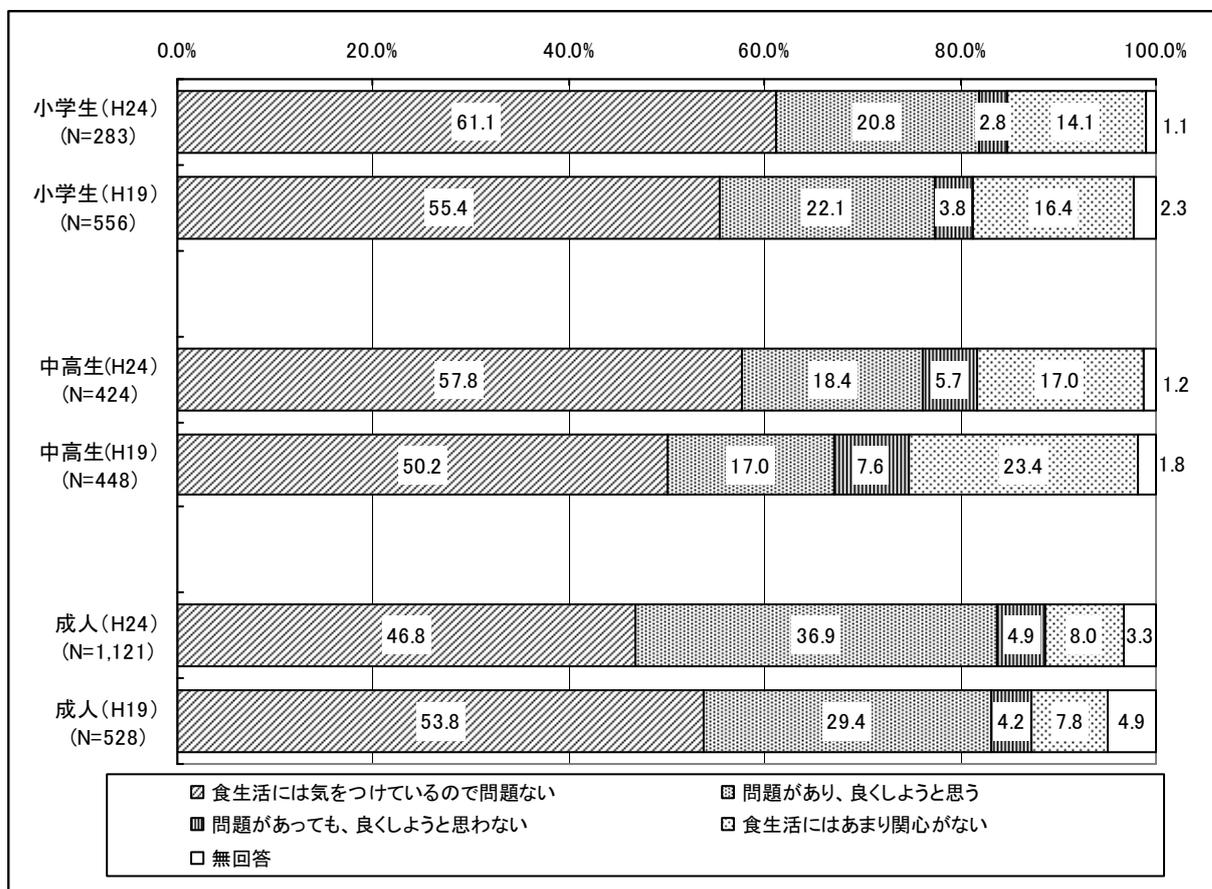
ここでは、平成24年9月（以下「平成24年度調査」）と平成19年10月（以下「平成19年度調査」）に生駒市が実施した、食生活や健康に関するアンケート結果をもとに、市民の健康をめぐる現状を整理します。

① 栄養・食生活

◆食生活に気をつけている人

○ 自分の食生活の問題の有無については、小学生、中高生は「食生活には気をつけているので問題ない」とする人が平成19年に比べて6～7ポイント増加している一方で、成人では約7ポイント減少しています。ただ、「問題があり、良くしようと思う」人が増加しており、全体的に食生活に関心がある人が増加しています。

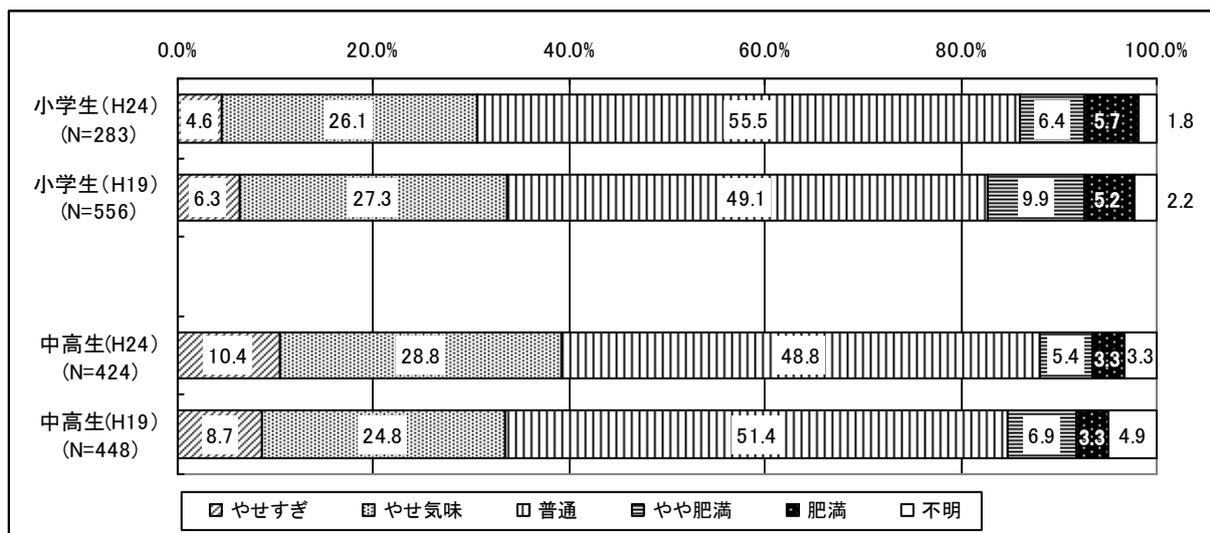
図表7 自分の食生活の問題の有無



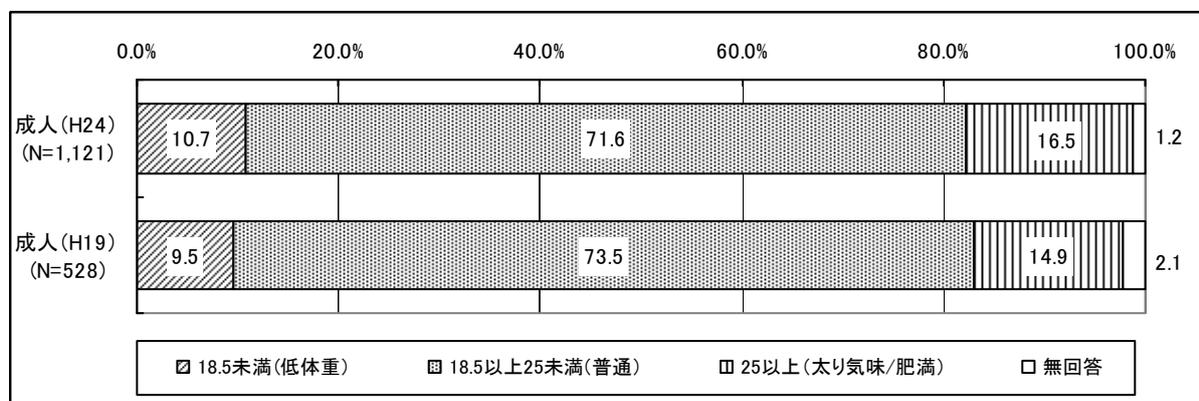
◆BMI

- BMIについては、平成19年に比べて、小学生は「普通」が増加しており、半数以上を占めています。一方、中高生は「やせすぎ」、「やせ気味」が増加し、「普通」は半数を下回りました。
- 成人では、ほとんど違いが見られないものの、「25以上（太り気味/肥満）」がやや増加しています。

図表8 日比式肥満度（小学生、中高生）



図表9 BMI（成人）

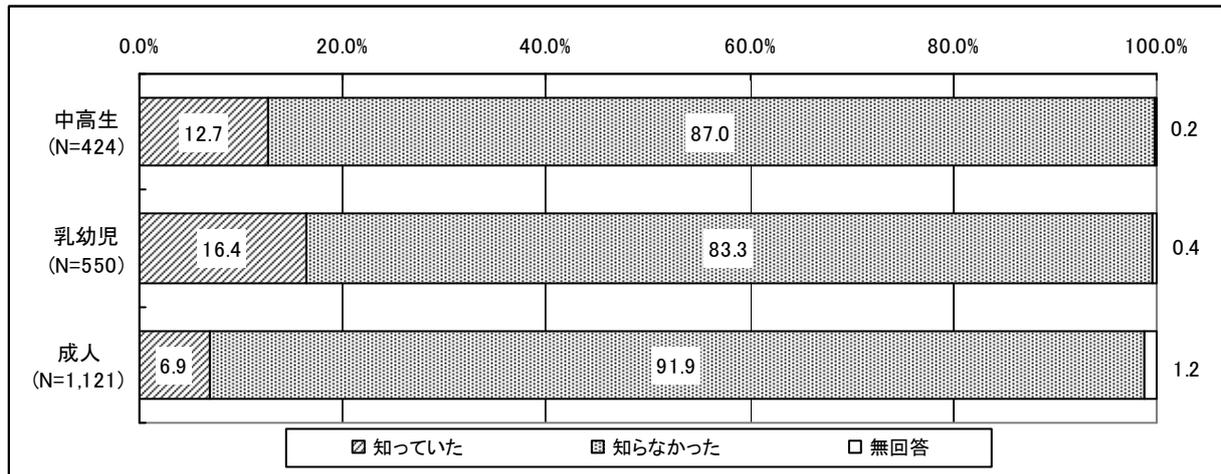


② 『わ食の日』

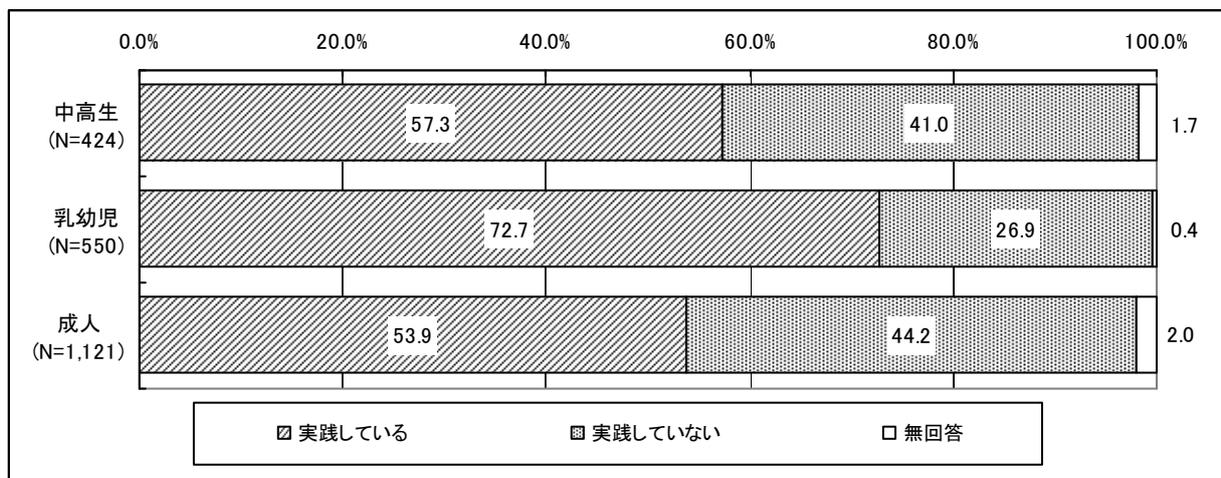
◆ 『わ食の日』の認知度、実践状況

- 『わ食の日』の認知度をみると、大半が知らなかったとしています。
- 『わ食の日』の実践については、乳幼児の保護者は実践している人が約73%と高く、それ以外の中高生、成人でも実践している人が半数を占めています。

図表 10 『わ食の日』の認知度



図表 11 『わ食の日』の実践

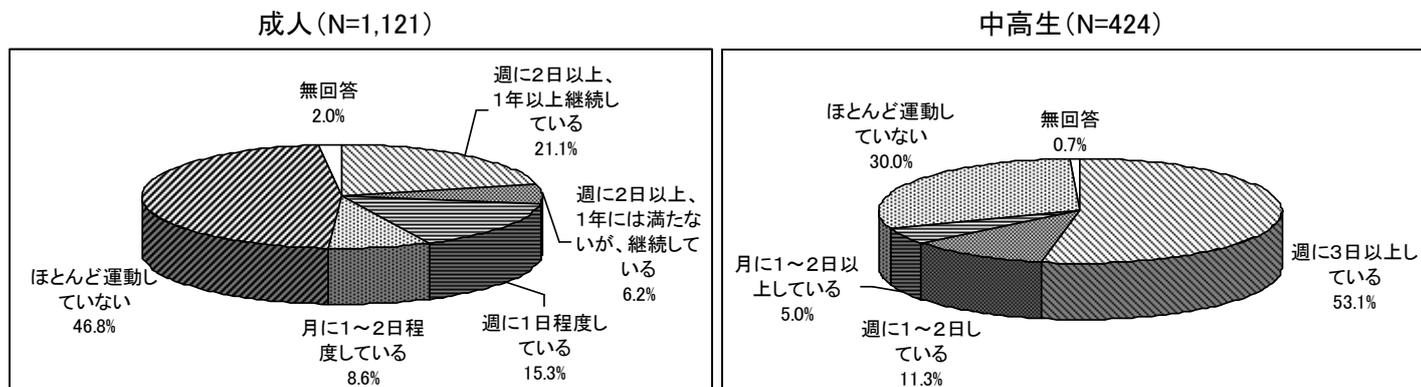


### ③ 身体活動、運動・スポーツ

#### ◆運動習慣のある人

○ 意識的に身体を動かすことの有無については、成人では、半数近くが「ほとんど運動していない」としています。一方、中高生については半数以上が「週に3日以上している」としています。

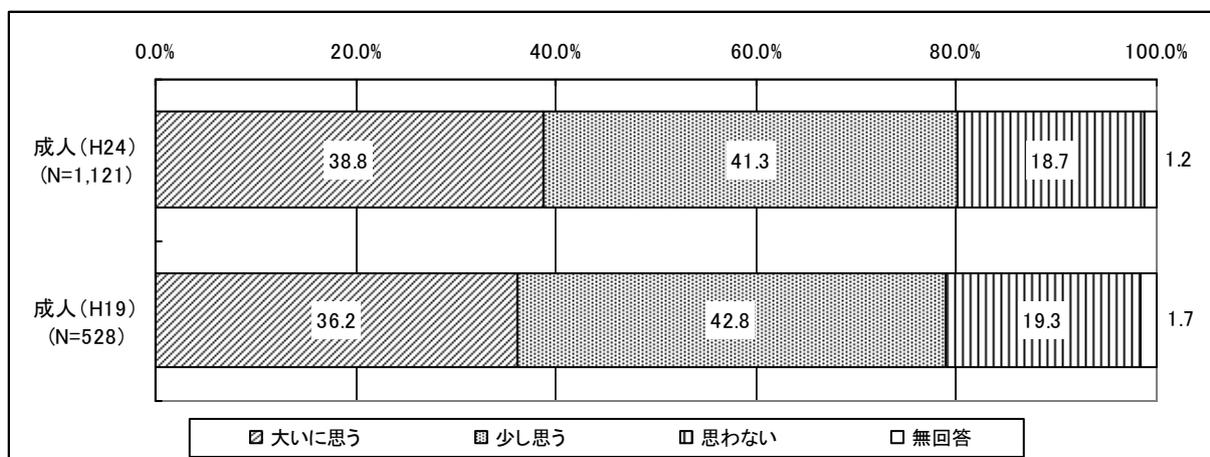
図表 12 意識的に体を動かすことの有無



#### ◆運動不足感の有無

○ 成人の運動不足感の有無については、平成19年とほぼ同様に約80%が運動不足を感じています。

図表 13 運動不足感の有無（成人）



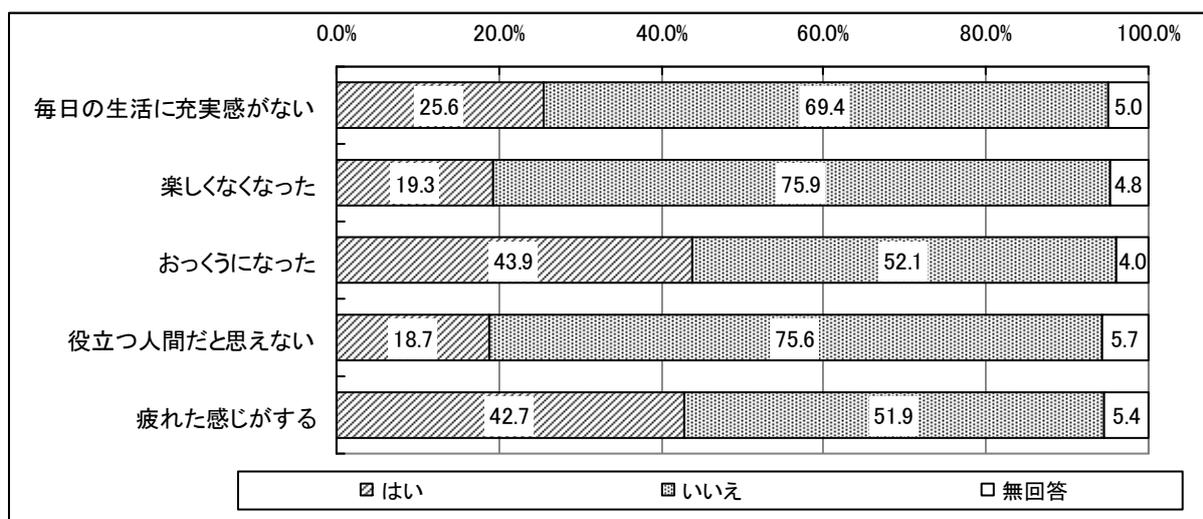
④ 休養・こころの健康

◆日常の心の疲れの有無

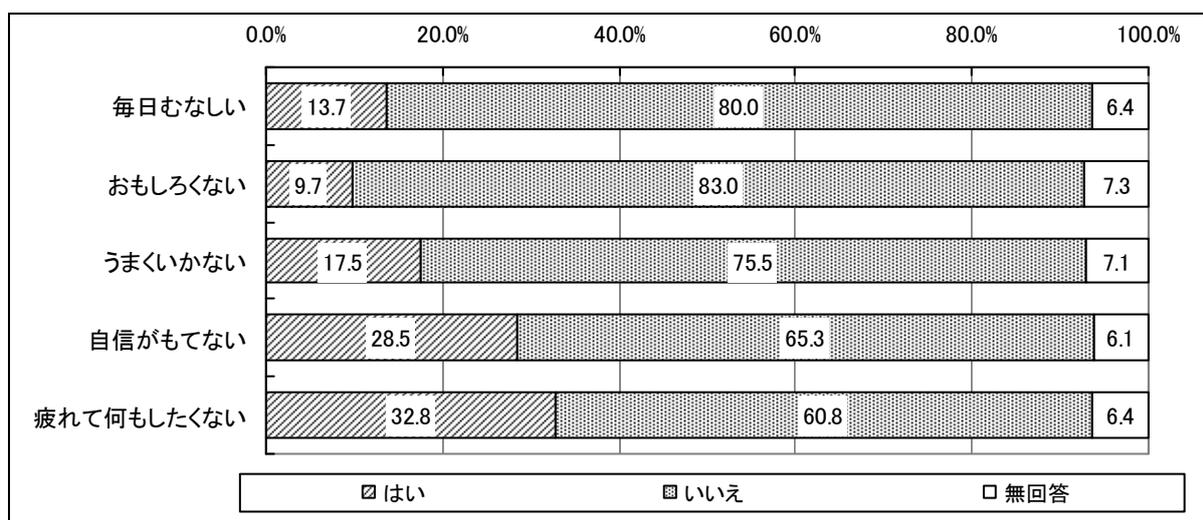
○ 日常の心の疲れの状況をみると、成人では、「おっくうになった」、「疲れた感じがする」をあげる人が40%強います。また、中高生では「自信がもてない」、「疲れて何もしたくない」をあげる人が30%前後います。

○ 成人のストレスや悩みの相談については、半数以上が「相談できている」としてはいますが、「相談できない」人も約17%います。

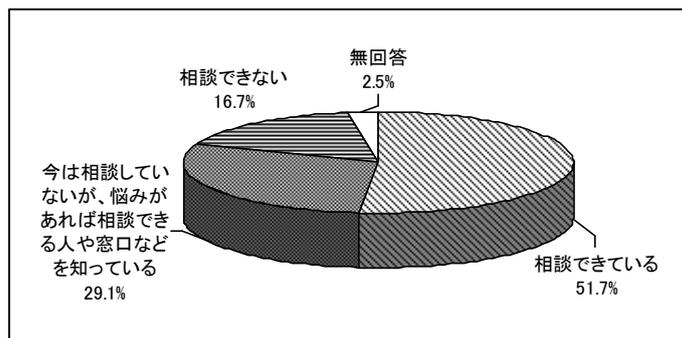
図表 14 日常の心の疲れの有無  
成人(N=1,121)



中高生(N=424)



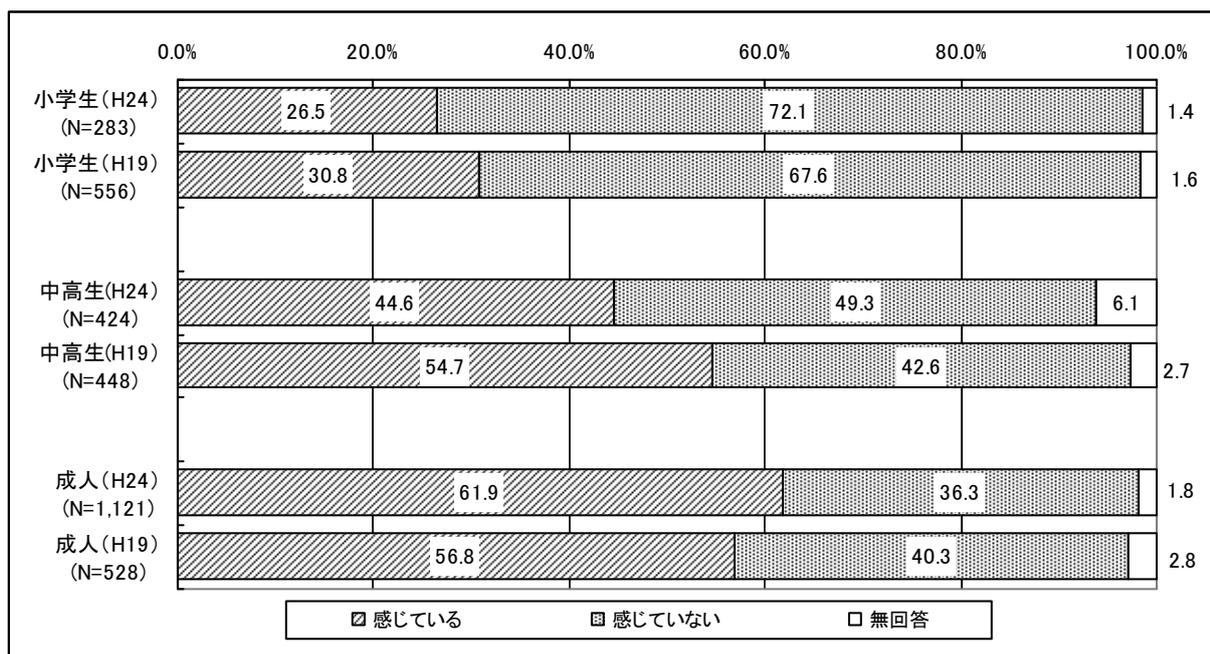
図表 15 ストレスや悩みの相談（成人）（N=1,121）



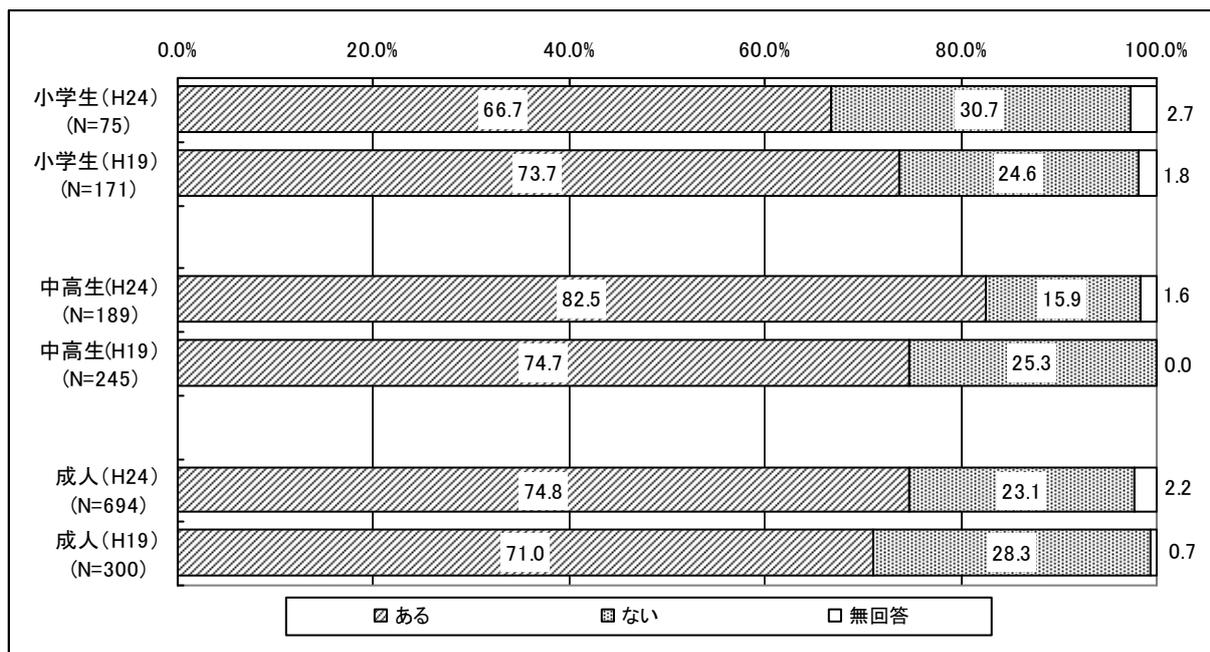
◆ストレスの有無

- ストレスの有無については、小学生、中高生とも「感じている」人が減少しているのに対し、成人では「感じている」人が増加しています。
- ストレス解消法の有無については、小学生は「ある」人が減少しているのに対し、中高生、成人では「ある」人が増加しています。

図表 16 ストレスの有無



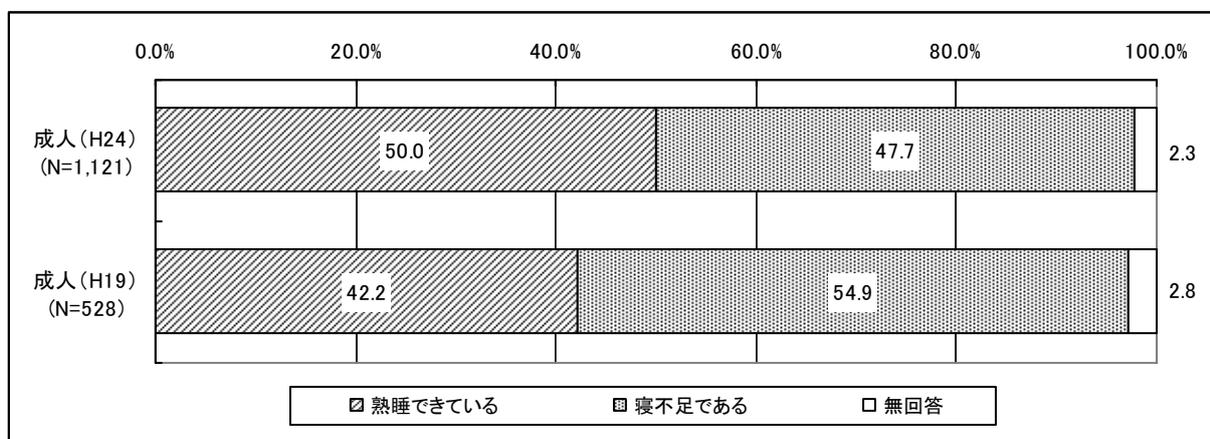
図表 17 ストレス解消法の有無



◆寝不足感の有無

○ 成人の寝不足感の有無については、「熟睡できている」人が平成 19 年に比べて約 8 ポイント増加しています。

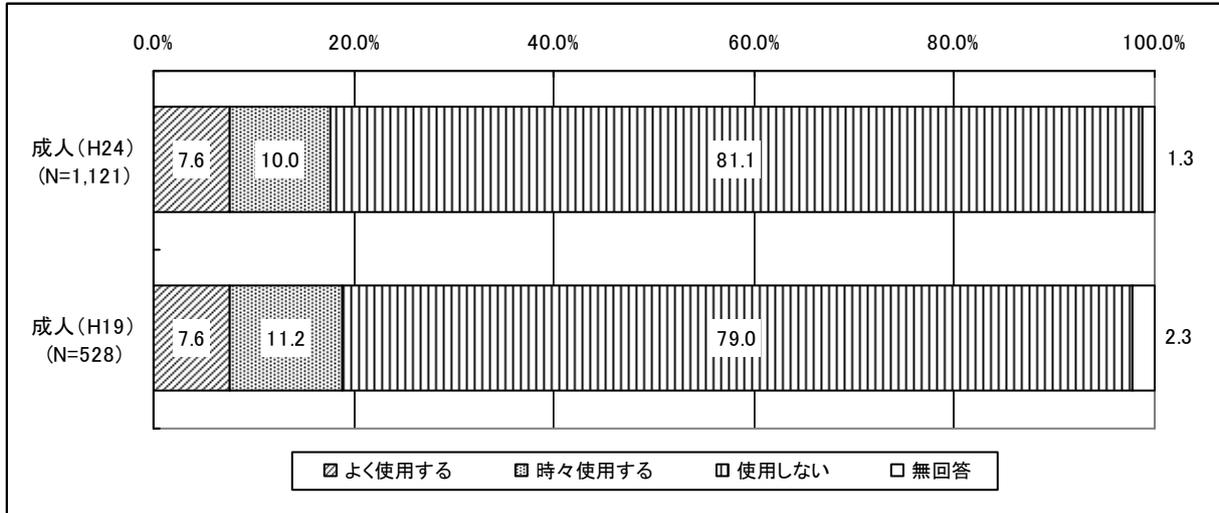
図表 18 寝不足感の有無 (成人)



◆睡眠導入剤等の使用有無

○ 睡眠導入剤等の使用については、平成19年とほぼ同様に、「よく使用する」、「ときどき使用する」といった人が約18%います。

図表19 睡眠導入剤等の使用有無（成人）

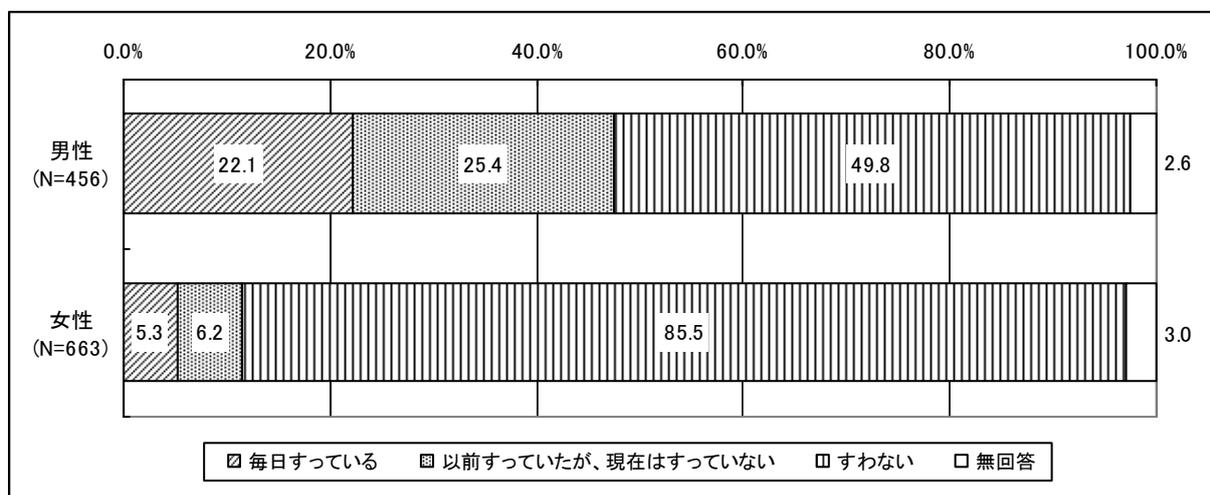


⑤ たばこ

◆喫煙の状況

○ 喫煙状況については、「毎日すっている」人は男性で約 22%、女性で約 5%います。一方、男性では「以前すっていたが、現在はすっていない」人が約 25%います。

図表 20 喫煙状況（成人）

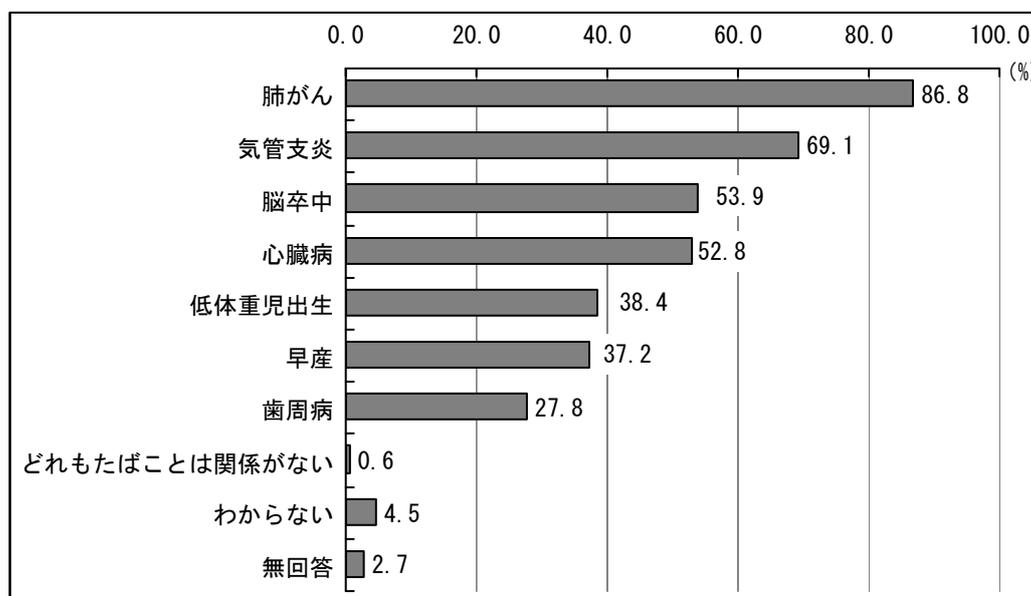


◆たばこと病気の関係

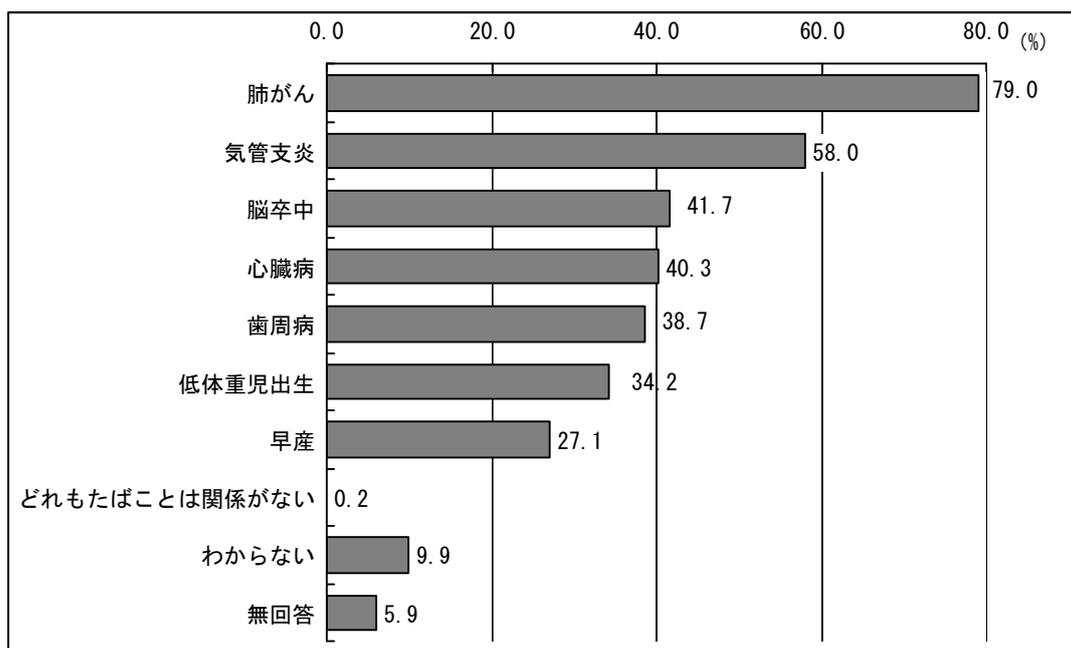
○ たばこと病気の関係については、成人、中高生とも半数以上があげているのは「肺がん」、「気管支炎」となっています。

図表 21 たばこと病気の関係

成人(N=1,121, 複数回答)



中高生(N=424, 複数回答)



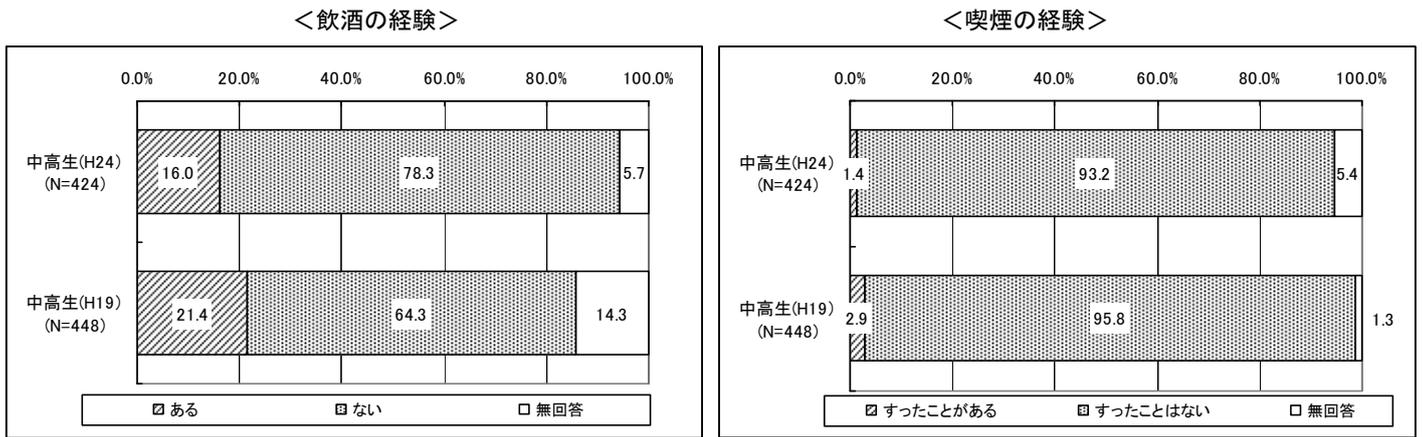
⑥ 飲酒

◆飲酒の有無

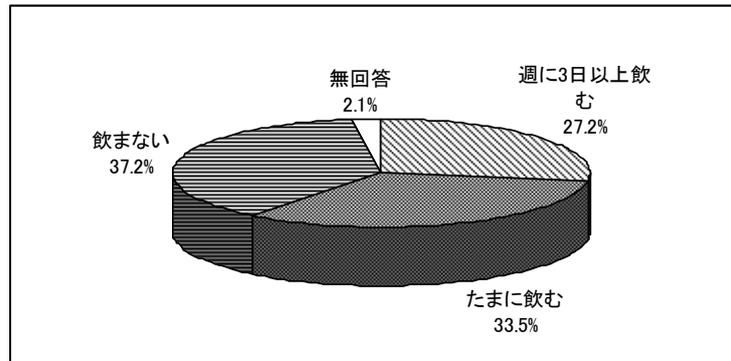
○ 中高生の飲酒経験については、平成19年に比べて「ある」人が約5ポイント減少しています。また、喫煙経験についても、「すったことがある」人が約1ポイント減少しています。

○ 成人の飲酒の有無については、「週に3日以上飲む」人が約27%います。

図表22 中高生の飲酒・喫煙の経験の有無



図表23 飲酒の有無（成人）（N=1,121）

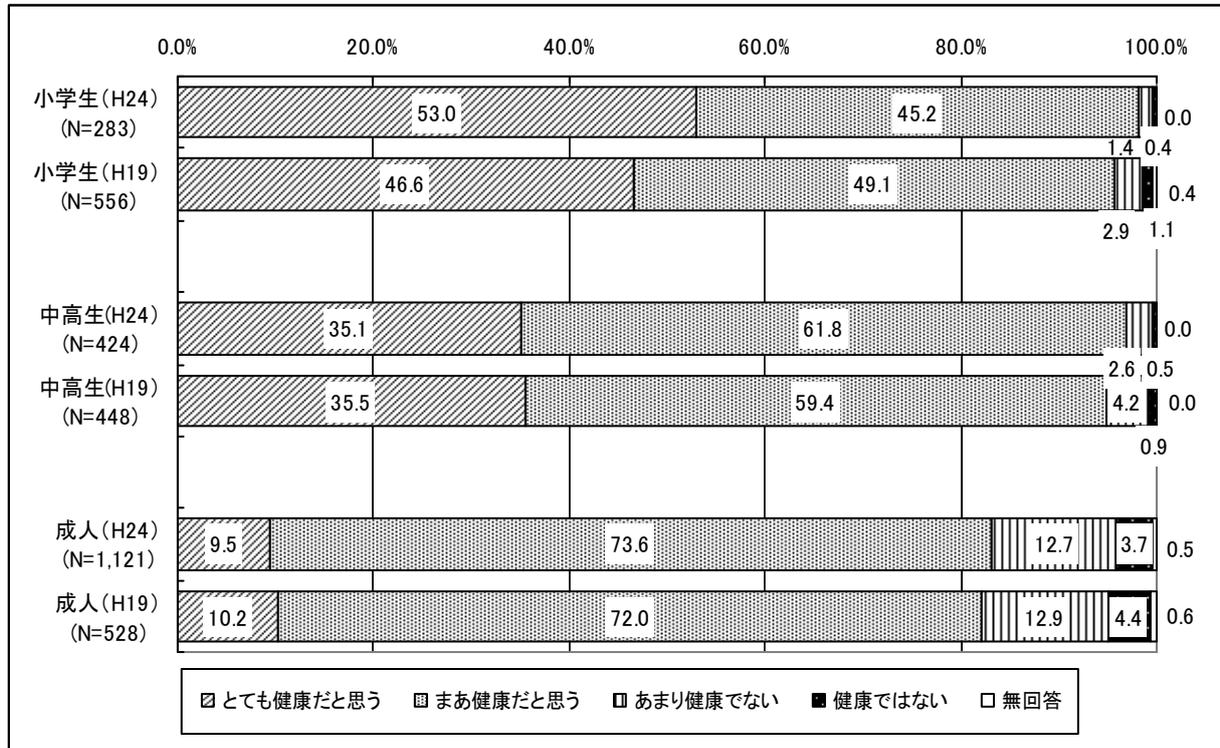


⑦ 健診・生活習慣病

◆健康状態

- 健康状態については、小学生は平成19年に比べて「とても健康だと思う」人が約6ポイント増加しています。また、中高生、成人では平成19年とほぼ同様となっています。

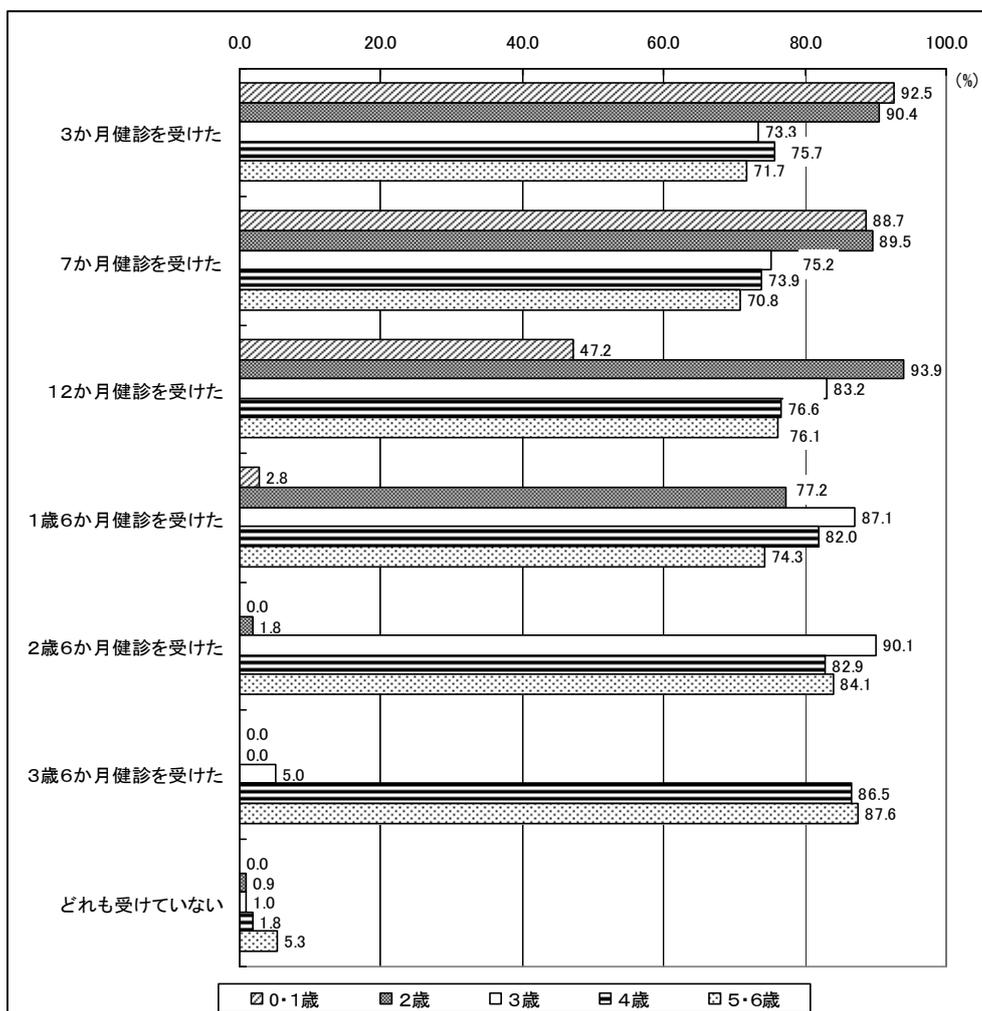
図表 24 健康状態



◆乳幼児健診の受診状況

○ 乳幼児健診の受診の有無については、おおむね受診率が高くなっています。

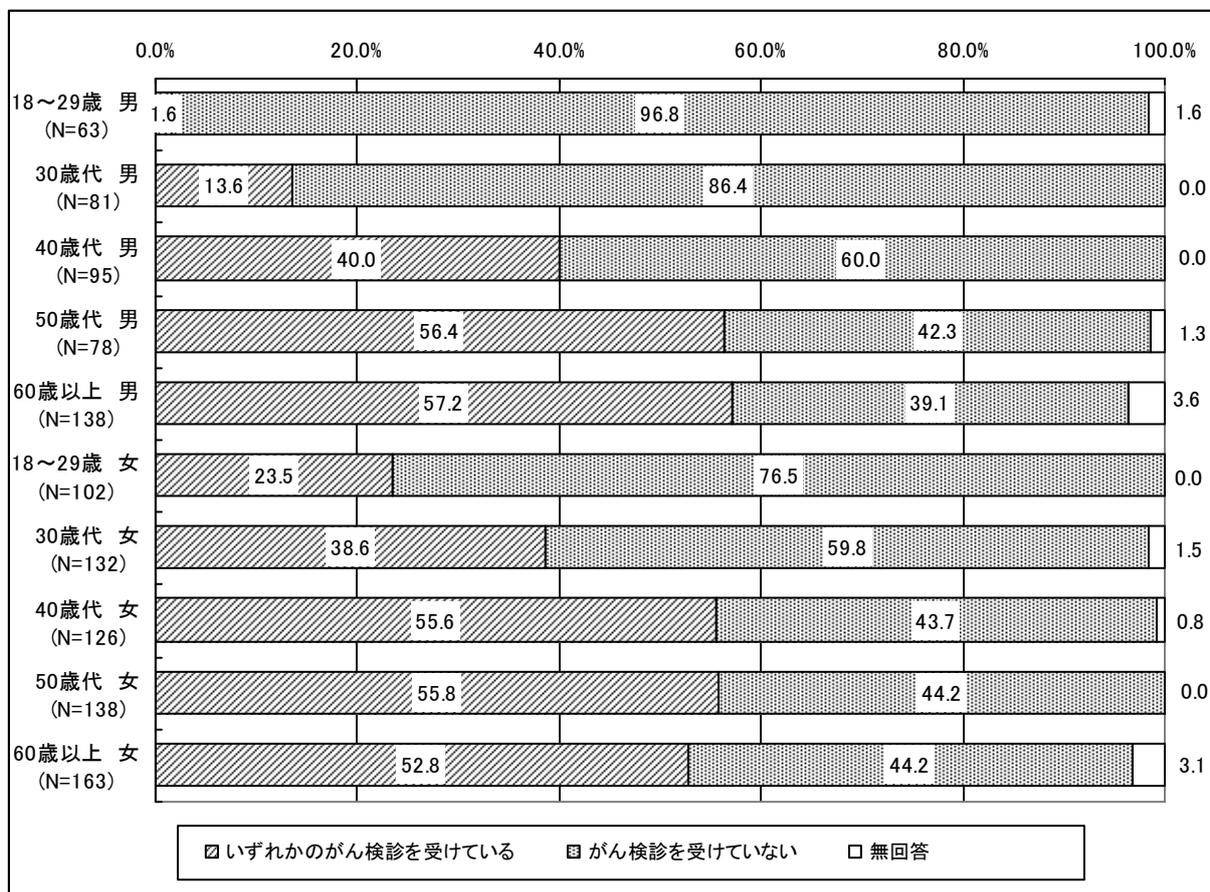
図表 25 乳幼児健診受診の有無 (N=550)



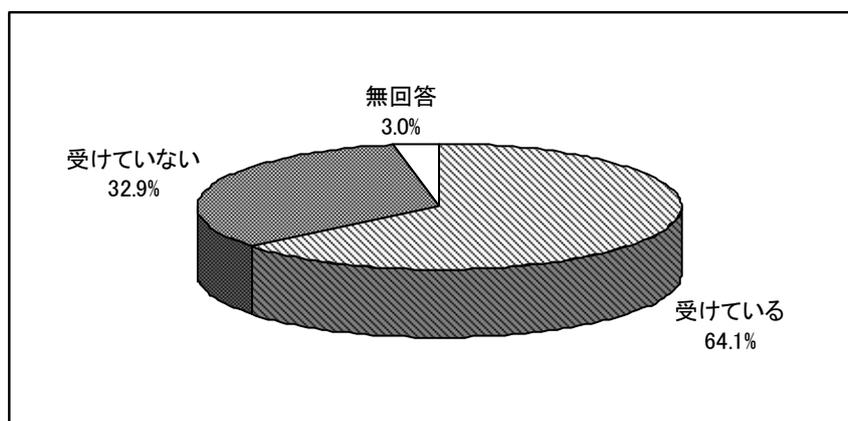
◆がん検診等の受診状況

- がん検診の受診については、50歳以上の男性、40歳以上の女性は半数以上が何らかのがん検診を受けています。
- 40歳以上の人については、約64%が特定健診を受けています。

図表 26 年代・男女別 がん検診受診の有無 (N=1,121)



図表 27 特定健診の受診の有無 (N=1,121)



◆自分の体重と体型に対する考え

○ 日比式肥満度と自分の体型に対する考えについては、中高生、成人とも、肥満度と体型に対する考えが一致している人は半数程度にとどまっています。

図表 28 日比式肥満度別の自分の体型に対する考え（中高生）（N=424）

		自分の体型に対する考え						(上段:人 下段:%)	
		合計	やせている	少しやせている	ふつう	少し太っている	太っている	無回答	
日比式肥満度	合計	424	43	73	214	67	26	1	
		100.0	10.1	17.2	50.5	15.8	6.1	0.2	
	やせすぎ	44	16	19	9	0	0	0	
		100.0	36.4	43.2	20.5	0.0	0.0	0.0	
	やせ気味	122	21	32	61	7	1	0	
		100.0	17.2	26.2	50.0	5.7	0.8	0.0	
	普通	207	4	20	128	40	15	0	
		100.0	1.9	9.7	61.8	19.3	7.2	0.0	
やや肥満	23	0	1	7	10	4	1		
	100.0	0.0	4.3	30.4	43.5	17.4	4.3		
肥満	14	0	0	1	8	5	0		
	100.0	0.0	0.0	7.1	57.1	35.7	0.0		
無回答	14	2	1	8	2	1	0		
	100.0	14.3	7.1	57.1	14.3	7.1	0.0		

図表 29 BMI別の自分の体型に対する考え（成人）（N=1,121）

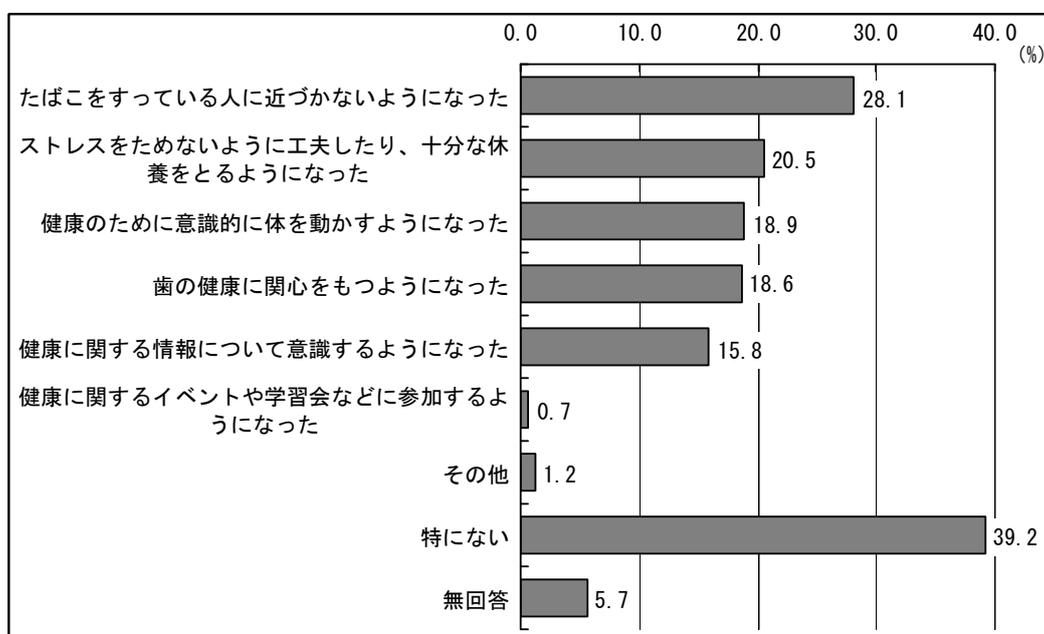
		自分の体型に対する考え						(上段:人 下段:%)	
		合計	やせている	少しやせている	ふつう	少し太っている	太っている	無回答	
BMI	合計	1,121	57	123	427	352	159	3	
		100.0	5.1	11.0	38.1	31.4	14.2	0.3	
	18.5未満 (低体重)	120	40	53	25	1	1	0	
		100.0	33.3	44.2	20.8	0.8	0.8	0.0	
	18.5以上25未 満(普通)	803	17	69	385	277	52	3	
		100.0	2.1	8.6	47.9	34.5	6.5	0.4	
	25以上30未 満(太り気味)	161	0	0	11	70	80	0	
100.0		0.0	0.0	6.8	43.5	49.7	0.0		
30以上(肥満)	24	0	0	1	1	22	0		
	100.0	0.0	0.0	4.2	4.2	91.7	0.0		
無回答	13	0	1	5	3	4	0		
	100.0	0.0	7.7	38.5	23.1	30.8	0.0		

## ⑧ 健康づくりなどでの行動の変化

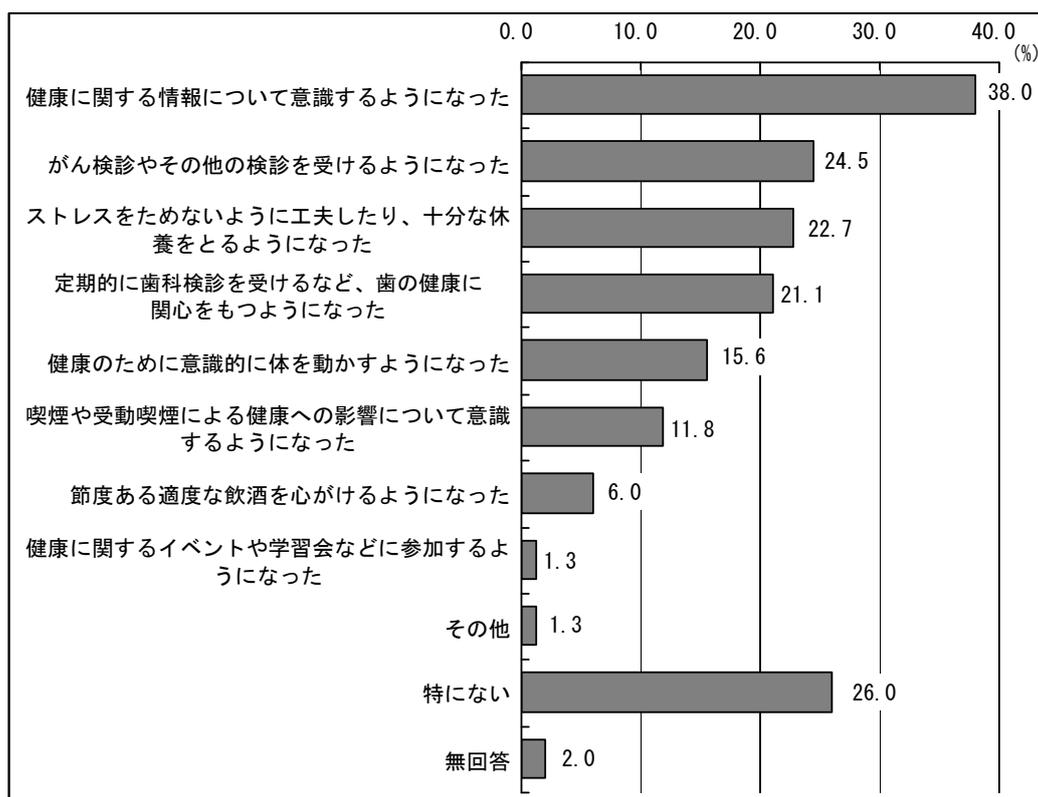
### ◆健康づくりなどでの行動の変化の有無

- 健康づくりなどでの自分の行動に変化があったかについては、中高生、乳幼児保護者、成人とも何らかの変化があった人は半数以上を占めています。特に多くあげられたものとして、中高生では「たばこをすっている人に近づかないようになった」、「ストレスをためないように工夫したり、十分な休養をとるようになった」を、乳幼児保護者では「健康に関する情報について意識するようになった」、「がん検診やその他の健診を受けるようになった」、「ストレスをためないように工夫したり、十分な休養をとるようになった」を、成人では「健康に関する情報について意識するようになった」、「健康のために意識的に体を動かすようになった」、「ストレスをためないように工夫したり、十分な休養をとるようになった」となっています。

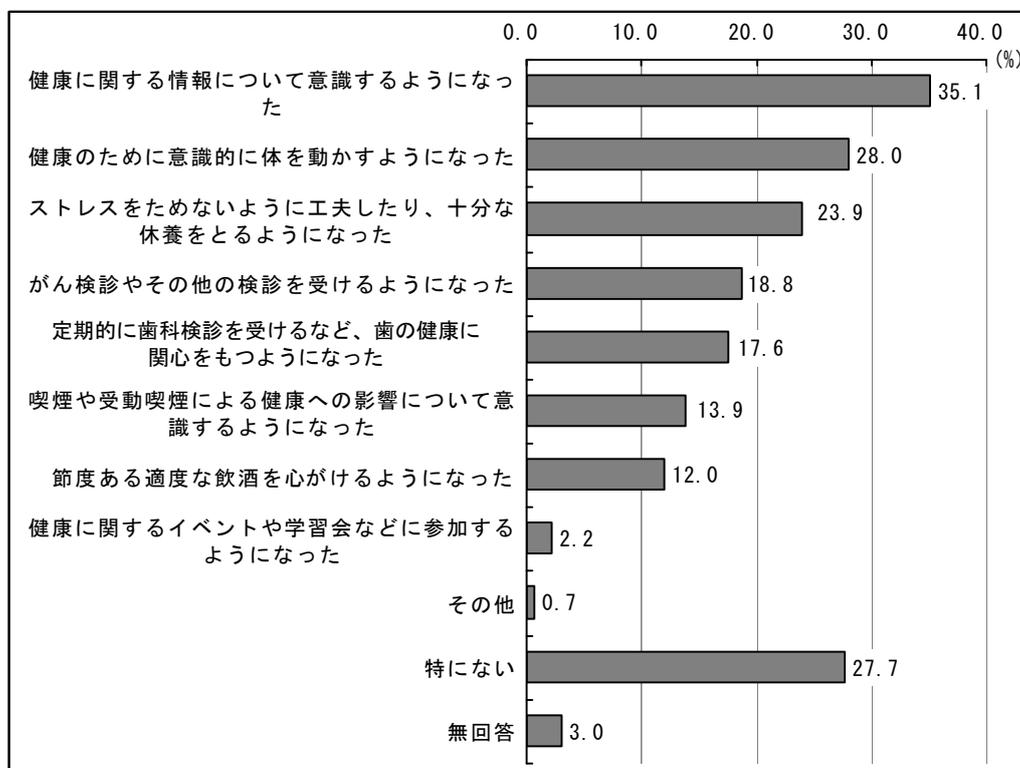
図表 30 健康づくりなどでの行動の変化の有無  
中高生(N=424, 複数回答)



乳幼児(N=550, 複数回答)



成人(N=1,121, 複数回答)

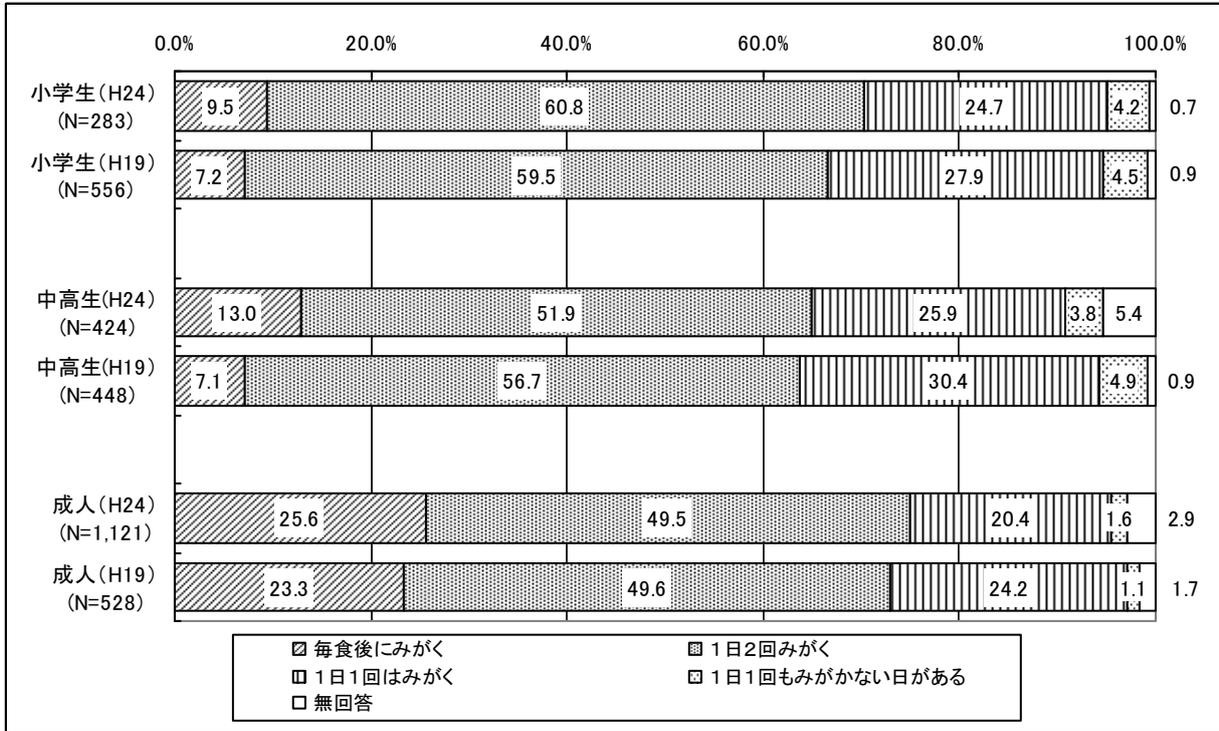


⑨ 歯や口腔

◆歯みがきの有無

○ 歯みがきの有無については、小学生、成人では「毎食後みがく」、「1日2回みがく」が平成19年に比べてやや増加しています。

図表 31 歯みがきの有無

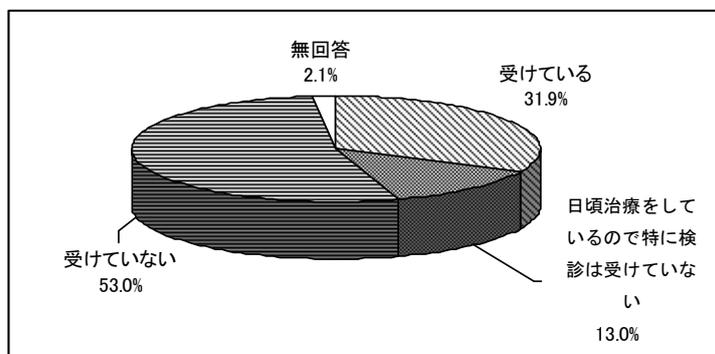


◆歯科検診受診の有無

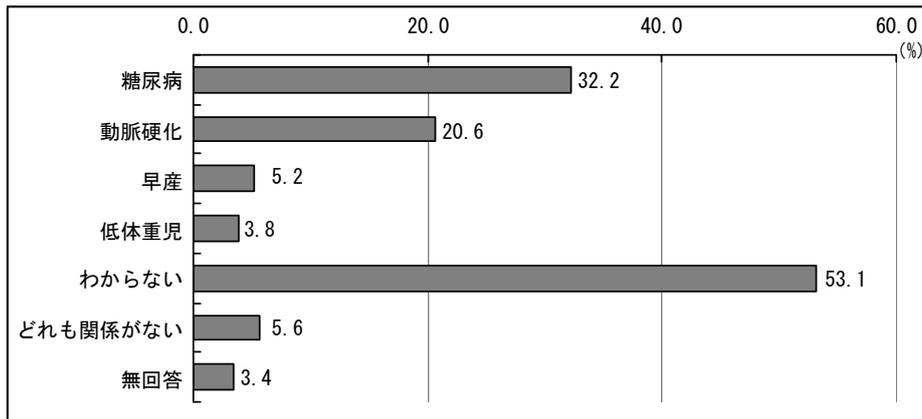
○ 歯科検診の受診については、「受けていない」人が半数を占めています。

○ 歯周病と病気との関係については「わからない」人が半数を占めています。一方、関係を知っているなかでは「糖尿病」、「動脈硬化」が多くあげられています。

図表 32 歯科検診受診の有無 (成人) (N=1,121)



図表 33 歯周病と病気との関係（成人）（N=1,121, 複数回答）

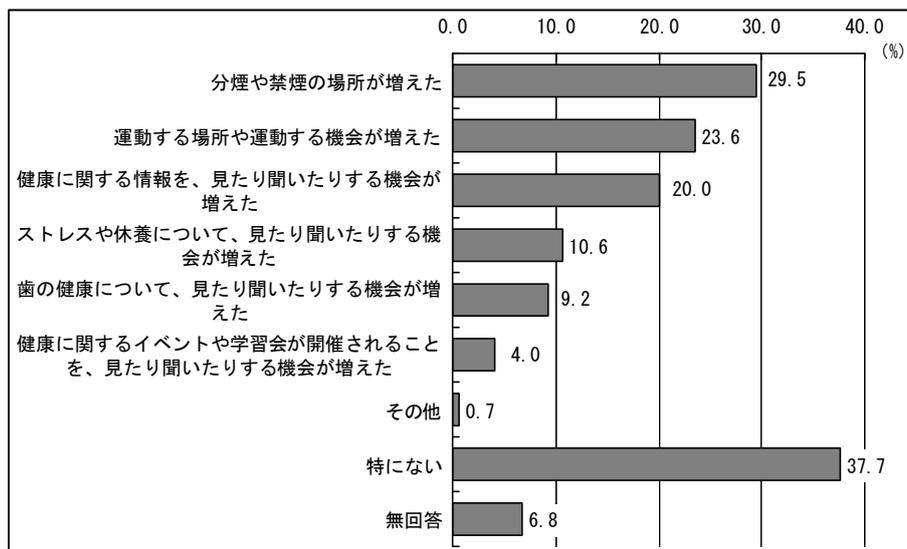


⑩ 健康づくりなどでの環境の変化

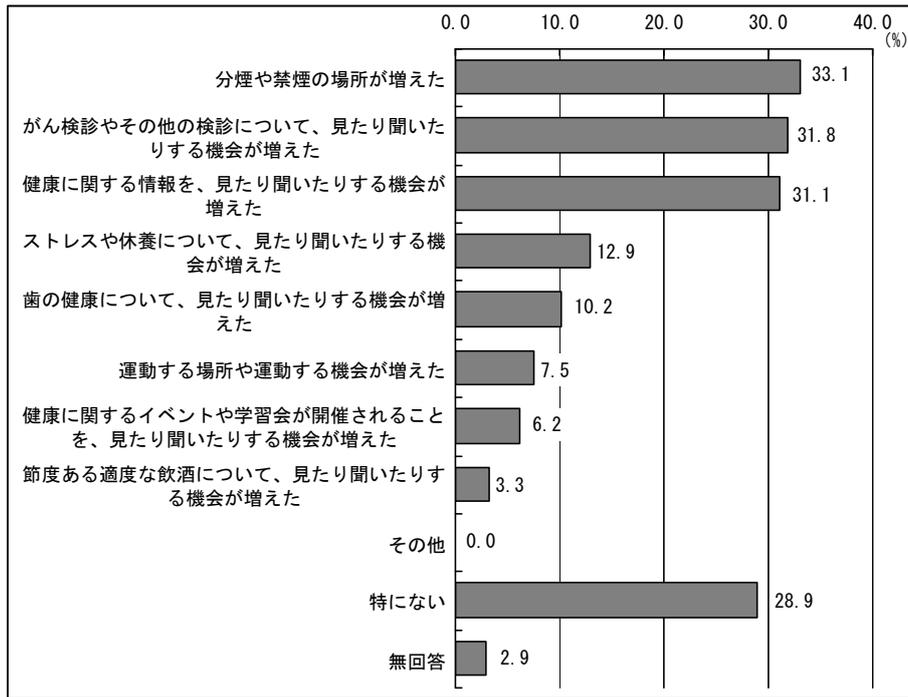
◆健康づくりなどでの環境の変化の有無

- この5年程度で健康づくりなどでの環境の変化については、中高生、乳幼児保護者、成人とも何らかの変化があった人は半数以上を占めています。特に多くあげられたものとして、中高生では「分煙や禁煙の場所が増えた」、「運動する場所や運動する機会が増えた」を、乳幼児保護者や成人では「分煙や禁煙の場所が増えた」、「健康に関する情報を、見たり聞いたりする機会が増えた」、「がん検診やその他の検診について、見たり聞いたりする機会が増えた」となっています。

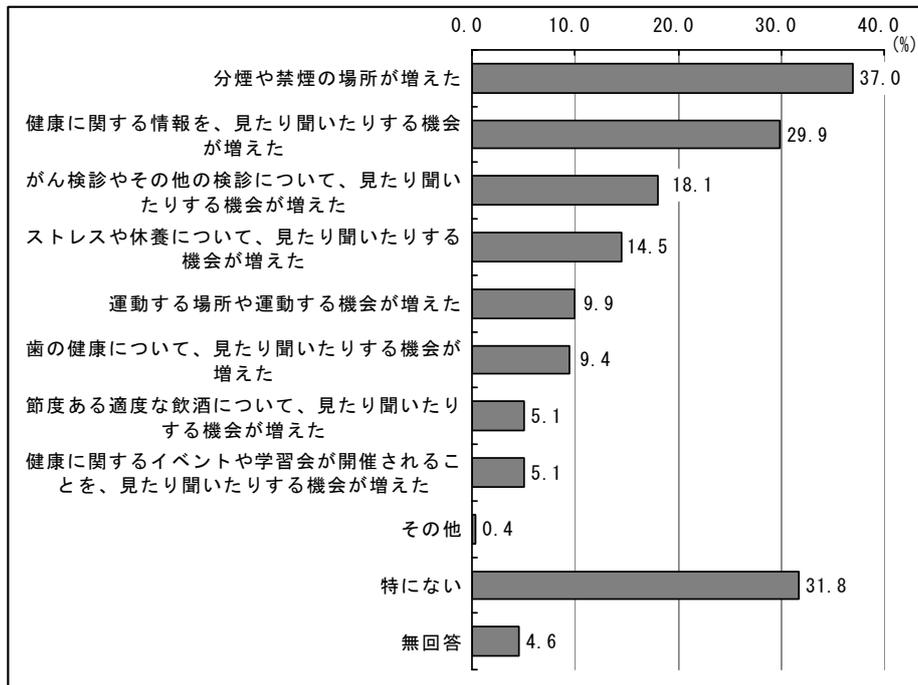
図表 34 健康づくりなどでの環境の変化の有無  
中高生(N=424, 複数回答)



乳幼児(N=550, 複数回答)



成人(N=1,121, 複数回答)



## 2 前計画の評価

### (1) 栄養・食生活

朝食をほとんど食べない人の割合は成人、中学生ともに大幅に減少している。また、栄養バランスに気をつけている人も増加し、食生活に気をつけている人は増加しているといえる。

一方で、毎日飲酒する人の割合はほぼ横ばいとなっている。さらには、10代の飲酒経験者の割合は大幅に減少しているものの、目標を達成することができていない。

一定の効果があつたものの、未だ目標を達成できていない項目については今後の課題として引き続き取り組んでいく必要がある。

#### 【数値目標に対する状況】

項目		現状値		平成 24 年度 の目標値	備考
		平成 14 年度	平成 24 年度		
朝食をほとんど食べない人の割合	20 歳代男	26.3%	10.9%	15.0%	
	30 歳代男	25.9%	9.9%		
朝食をほとんど食べない中学生の割合	中学 2 年生	8.3%	中学生 0.9%	減少	
	中学 3 年生	19.7%	高校生 5.2%		
栄養バランスに気をつけている人の割合	男性	23.3%	37.7%	90.0%	
	女性	44.2%	60.3%		
動物性脂肪を多く含む食品のとりすぎに注意している人の割合	20 歳代男	47.4%	7.8%	70.0%	
	20 歳代女	60.7%	14.7%	90.0%	
緑黄色野菜を食べるようところがけている人の割合		88.4%	28.2%	100.0%	
牛乳類・小魚・大豆製品・海藻などを食べるようところがけている人の割合		89.9%	40.0%	100.0%	
食品購入時に栄養成分表示を参考にする人の割合		72.0%	28.5%	90.0%	
毎日飲酒する人の割合	50 歳代男	53.7%	56.4%	25.0%	週 3 日以上
	60 歳代男	50.0%	57.7%		
多量の飲酒(350ml 缶ビール 4 本以上・日本酒 3 合換算)する人の割合	男性	16.0%	9.4%	減少	
	女性	18.7%	1.4%		
10 代で飲酒したことのある人の割合	中学 2 年生	46.1%	中学生 10.5%	なくす	
	中学 3 年生	44.8%	高校生 22.8%		

(2) 身体活動・運動

運動不足を感じている人、意識的に身体を動かしている人の割合はやや減少しており、「運動習慣」の必要性の認識が低いことがうかがえる。

また、アンケートでは、「比較的運動している人」が 43%、「ほとんど運動していない人」が 47%いる。「運動習慣を身につける為に必要な条件」については、「経済的な負担がかからない」「近くに運動できる場所がある」「一人でも気軽にできる」といった意見が多くあがっていた。

市民が運動習慣を身につけるためには、身近な所で手軽に運動をできるような環境整備が重要である。また、既存の資源を有効活用できるよう、各課で連携し情報の共有化を図り、市民が情報を得やすい体制を整えていくことも必要である。

【数値目標に対する状況】

項目	現状値		平成 24 年度の目標値	備考
	平成 14 年度	平成 24 年度		
運動不足を感じている人の割合	87.2%	80.1%	30.0%	そのうち大いに思うは 38.8%
意識的に身体を動かしている人の割合	54.3%	51.2%	80.0%	

(3) こころの健康・休養

アンケート結果によると、ストレス解消法がある人はやや増加している。また、小学生から成人までストレスを感じている人のうち、「ストレスの解消方法がない」と答えた人は 10～20%おり、悩みの相談ができない人についての支援が必要である。

睡眠に関しては、「寝不足感を感じている人」は 50%となっている。また、睡眠のために薬物やアルコールを使用している人は減少している。質の高い睡眠ができるよう、睡眠に対する情報提供や啓発などを進めていくことが重要である。

自殺者数はほぼ横ばいとなっており、近年取組みを始めた相談室やスクールカウンセラーの配置などで、更なる数値目標の達成や自殺者数の減少を目指し、取組みを深めていく必要がある。

【数値目標に対する状況】

項目	現状値		平成 24 年度の目標値	備考
	平成 14 年度	平成 24 年度		
自分なりのストレス解消法のある人の割合	71.3%	74.8%	増加	
睡眠によって休養が十分とれていない人の割合	今後把握	50.0%	減少	寝不足感の有無より
入眠のために睡眠薬・アルコールを使用している人の割合	10.5%	7.6%	減少	
自殺の件数	22 件	23 件	減少	H23 の内閣府が出した暫定値

#### (4) 歯の健康

アンケートによると、成人の歯科検診を受けている人の割合は、男性 38.4%、女性 49.5%と男性は減少し、女性が増加しているが目標には達していない。

子どもから大人まで、今後、平成 25 年 3 月に県が策定した「なら歯と口腔の健康づくり計画」も視野に入れて取組んでいくことが重要である。

#### 【数値目標に対する状況】

項目	現状値		平成 24 年度の目標値	備考	
	平成 14 年度	平成 24 年度			
歯科検診を受けている人の割合(成人)	男性	45.0%	38.4%	90.0%	
	女性	39.9%	49.5%		
3 歳児歯科健診受診率	現在調査中		33.2%	増加	H23 の集計
3 歳児におけるう歯の有病者率	現在調査中		7%	10.0%	H23 の集計

#### (5) 疾病予防

BMI 要指導者の割合は 40 歳、50 歳男性で増加している。また、成人全体では BMI 要指導者は 17% であるのに対し、自分の体を「太っている」と認識している人が 46%おり、自分の適正体重を理解していない人が多くいる。

また、アンケートによると、なんらかのがん検診を受診した人は 43%いる。がん検診を受診していない理由として「たまたま」「面倒」「時間がなかった」等の理由が多い。受診する条件として「土日・祝日の実施」「複数の受診場所の確保」をあげる人が多く、既に実施していることもあるが、がん検診の受診率を高めるため引き続き力を入れて取組んでいく必要がある。

BMI: 成人の肥満度をあらわす指標の一つ。(算定方法: 体重[kg]÷身長[m]÷身長[m])

#### 【数値目標に対する状況】

項目	現状値		平成 24 年度の目標値	備考	
	平成 14 年度	平成 24 年度			
BMI要指導者の割合	40 歳代男	30.8%	32.7%	減少	
	50 歳代男	26.5%	38.4%		
年 1 回健康診断を受けている人の割合	75.6%		61.4%	80.0%	「何らかの健康診断を受診している」人
最近の健康状態があまり健康ではないと思う人の割合	22.1%		16.4%	減少	
基本健康診査の有所見者の割合(要観察・要指導・要医療者の割合)	血圧	25.5%	29.9%	減少	国保者のみのデータの為、比較できず
	心電図異常	18.6%		減少	
	総コレステロール	29.8%	33.3%	減少	
がん検診受診率	胃がん	13.8%	8.9%	30.0%	H23 集計
	乳がん	14.6%	18.8%		
	子宮頸がん	10.7%	20.5%		
	大腸がん	6.2%	19.5%		
	肺がん	7.6%	5.6%		

(6) 禁煙

たばこをすっている人の割合は男女ともに減少している。また、10代の喫煙率については、大幅に減少しているが、なくすという目標には達成できていない。さらには、喫煙が及ぼす影響についての認知は、以前より低くなってきている。

今後も、受動喫煙の害や喫煙の害を認識した上で、引き続き啓発を実施していく必要がある。

【数値目標に対する状況】

項目		現状値		平成 24 年度の目標値	備考
		平成 14 年度	平成 24 年度		
現在たばこをすっている人の割合	男性	45.8%	22.1%	減少	
	女性	12.3%	5.3%		
10代でたばこをすっている人の割合	中学 2 年生	7.0%	中学生 0.4%	なくす	
	中学 3 年生	15.8%	高校生 2.6%		
妊娠中にたばこをすっている人の割合		6.2%	1.0%	なくす	
喫煙が及ぼす健康影響について知っている人の割合	肺がん	90.3%	86.8%	100.0%	
	気管支炎	73.6%	69.1%		
	歯周病	41.1%	27.8%		
	脳卒中	60.9%	53.9%		
	心臓病	65.1%	52.8%		
	低体重児	56.2%	38.4%		
	早産	69.8%	27.8%		

(7) 安心してのぞめる妊娠・出産

悩み事を解決できる方法がある中学生の割合は減少しているが、相談できる相手がいる中学生の割合は大幅に増加している。

妊娠 11 週以前での妊娠届率や妊娠中から産後にかけて相談する人がいる割合は増加している。妊産婦・新生児訪問を利用した人の割合は「こんにちは赤ちゃん事業」を開始したこともあり、大幅に増加している。妊娠期から産後までのつながりのある支援が安心や関係づくりに重要であり、引き続き取り組んでいく。

夫やパートナーへの妊娠期の役割や妊婦についての知識の普及は、妊娠中の支援や産後の育児負担の軽減につながる効果がみられているため、引き続き重点的に取り組んでいく。

【数値目標に対する状況】

項目		現状値		平成 24 年度の目標値	備考
		平成 14 年度	平成 24 年度		
自分を健康だと思う中学生の割合	中学 2 年生	86.8%	98.7%	増加	
	中学 3 年生	77.0%			
悩みごとを解決できる方法がある中学生の割合	中学 2 年生	93.6%	82.5%	増加	自分なりのストレス解消法の有無より
	中学 3 年生	96.4%			
悩みごとを相談できる相手がいる中学生の割合	中学 2 年生	46.5%	89.5%	増加	
	中学 3 年生	43.7%			

項目	現状値		平成 24 年度 の目標値	備考
	平成 14 年度	平成 24 年度		
妊産婦死亡率(出生 10 万対)	0.0%	0.0%	維持	
妊娠 11 週以前での妊娠届出率	71.5%	88.4%	増加	
妊娠中から産後にかけて相談相手がいる割合	90.8%	99.2%	100.0%	
パパ講座に参加する夫婦の割合	24.9%	36.6%	50.0%	
妊産婦・新生児訪問を利用した人の割合	5.7%	94.4%	25.0%	

### (8) 子どものこころと身体のすこやかな成長

アンケートによると、育児を負担に感じる親は 35.2%となっているが、相談相手のいる母親の割合は 97.5%と高い。

被虐待児数は現在も増加しているが、地域住民や関係機関における児童虐待の認識の変化によるものと考えられる。また、全て継続的な支援や見守りが行われている事から、引き続き取組みを進めることが必要である。

### 【数値目標に対する状況】

項目	現状値		平成 24 年度 の目標値	備考
	平成 14 年度	平成 24 年度		
育児を負担に感じる親の割合	今後把握	35.2%	減少	H23 集計 より
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	86.4%	90.9%	維持	
育児について相談相手のいる母親の割合	今後把握	97.5%	増加	
育児相談来所率	30.2%	31.7%	維持	
育児教室来所率	51.4%	23.6%	維持	
法に基づき児童相談所等に報告があった被虐待児数	14 件	51 件	増加を経て 減少	
子どもの虐待で担当課が関わりをもっている被虐待児数	29 件	新規 155 件 継続 189 件	増加を経て 減少	
乳幼児健診受診率	91.6%	93.2%	維持	H23 集計 より
乳幼児突然死症候群を知っている親の割合	今後把握	62.9%	増加	

(9) 親子を暖かく支える環境

家族が育児・家事に参加する割合は95.5%と増加している。パパママ教室やパパ講座への父親の参加割合も増加しているが、目標の50%には達成していない。

地域で育児を支える資源としては、母子推進員の増加やファミリーサポートセンターへの登録・利用件数の増加等、みんなで支え合う地域づくりが広がってきているため、引き続き重点的に取り組んでいく。

【数値目標に対する状況】

項目	現状値		平成 24 年度 の目標値	備考
	平成 14 年度	平成 24 年度		
家族が育児、家事に参加する割合	61.8%	95.5%	増加	
パパ講座に参加する夫婦の割合	24.9%	36.6%	50.0%	H23 集計 より
パパ講座OB会に参加する家族数	48 家族	22 家族	増加	
子育てひろばに参加する家族数	60 家族	1843 家族	増加	
自主育児サークルの数	15 グループ	14 グループ	増加	
母子推進員の数	29 人	38 人	増加	
運動推進員の数	29 人	68 人	増加	
子育てアドバイザーの数	104 人	12 人	増加	
いこまファミリーサポートセンター登録会員数	272 人	771 人	増加	
いこまファミリーサポートセンター利用者件数	540 件	2147 件	増加	

### 3 健康に関するアンケート調査概要

(1) 調査の目的

「健康いこま21」、「生駒市食育推進計画」の見直しのための参考資料として使用します。

(2) 調査対象者、調査方法

調査対象、調査方法は下記の通りです。

対象者区分	対象者	調査方法	調査時期
幼年	市内に在住の就学前の子どもの保護者	郵送配布・ 郵送回収	平成24年 9月6日 ～ 9月26日
小学生	市内に在住の小学5年生の子ども		
中・高校生	市内に在住の中学生・高校生		
成人（18歳以上）	市内に在住の18歳以上の市民		

(3) 配布数、回収率

配布数、回収率は下記の通りです。

対象者区分	配布数	回収数	回収率
幼年	800	550	68.8%
小学生	400	283	70.8%
中・高校生	800	424	53.0%
成人（18歳以上）	2,000	1,121	56.1%

## 4 生駒市健康増進計画策定懇話会開催要綱

### (設置)

第1条 次の各号に掲げる計画の見直し及び策定等を行うにあたり、外部の視点からの意見又は助言を求めため生駒市健康増進計画策定懇話会（以下、「懇話会」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

- (1) すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を目的とする健康づくりに関する健康生駒21計画
- (2) 健やか親子21に基づく母子保健計画
- (3) 食育基本法（平成17年法律第63号）第18条第1項の規定に基づく、本市における食育の推進に関する施策に関する食育推進基本計画

### (意見等を求める事項)

第2条 懇話会において意見又は助言を求める事項は次のとおりとする。

- (1) 第1条各号に規定する計画に関する基本的な方針に関すること
- (2) その他第1条各号に規定する計画に関し市長が意見を求める必要があると認める事項

### (参加者)

第3条 市長は、次に掲げる者のうちから懇話会への参加を求めるものとする。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 郡山保健所職員
- (4) 公募委員
- (5) その他市長が必要と認める者

### (運営)

第4条 懇話会の参加者は、その互選により懇話会を進行する座長を定めるものとする。

- 2 市長は、必要があると認めるときは、懇話会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

### (ワーキンググループ)

第5条 市長は、必要があると認めるときは、ワーキンググループを開催することができる。

- 2 市長は、懇話会の参加者その他必要と認める者のうちからワーキンググループへの参加を求めるものとする。

### (開催時期)

第6条 懇話会の開催時期は2年間を目途とする。

### (庶務)

第7条 懇話会の庶務は、健康課において処理する。

### (施行の細目)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、平成24年5月11日から施行する。

生駒市健康増進計画策定懇話会参加者名簿

	氏名	所属	備考
座長	近藤雄二	学識経験者 天理大学 体育学部 体育学科 教授	
副座長	天野信子	学識経験者 帝塚山大学 食物栄養学科 講師	
参加者	澤井遵	生駒市医師会代表	
参加者	中溝辰男	生駒市歯科医師会代表	
参加者	田中敬子	生駒市薬剤師会代表	
参加者	山田全啓 根津智子	郡山保健所代表	平成25年3月31日まで 平成25年4月1日から
参加者	藤尾庸子	生駒市健康づくり推進員連絡協議会代表	
参加者	池田健二 藤澤清二	生駒市自治連合会代表	平成25年3月31日まで 平成25年4月1日から
参加者	本田千文、三須磨智子 幸治里織	生駒市PTA協議会代表	平成25年5月20日まで 平成25年5月21日から
参加者	田中久子	民生児童委員連合会代表	
参加者	深谷修次	生駒市商工会議所代表	
参加者	古川喜幸	農業協同組合代表	
参加者	油浦裕人	生駒市体育協会代表	
参加者	玉村綾子、内田幸子	いこま育児ネット代表	
参加者	小中一弘 西井久之	生駒市校園長会代表	平成25年3月31日まで 平成25年4月1日から
参加者	米田恵美子	生駒市保育会代表	
参加者	吉村邦彦	公募市民	
参加者	伊達偉佐夫	公募市民	
参加者	西澤富夫	公募市民	
参加者	奥田高弘	公募市民	

## 5 第2期健康いこま21 策定経過

日時	策定経過
平成24年 8月9日	第1回健康増進計画策定懇話会（全体会） （アンケート案の検討）
9月6日～9月26日	食習慣・生活習慣アンケートの実施 （回答者 2,378名）
10月～11月	アンケート結果報告書の作成
11月19日	第2回健康増進計画策定懇話会（全体会） （アンケート結果と課題の報告）
平成25年 5月20日	第1回健康いこま21ワーキング （第1期健康いこま21の評価と第2期健康いこま 21の骨子（案）の検討）
6月21日	第2回健康いこま21ワーキング （第2期健康いこま21（案）の検討）
7月19日	第4回健康増進計画策定懇話会 （第2期健康いこま21（案）の検討）
9月26日～10月25日	パブリックコメント
11月8日	第5回健康増進計画策定懇話会 （パブリックコメント後の第2期健康いこま21（案）の検討）
11月15日	第2期健康いこま21策定



第2期 健康いこま21 (平成25年(2013年)11月)

生駒市役所 健康課 〒630-0288 奈良県生駒市東新町8番38号  
TEL.0743-74-1111 e-mail:kenkou@city.ikoma.lg.jp